

低炭素社会実行計画における実態調査等報告書

平成 30 年 3 月

公益社団法人 全国産業廃棄物連合会

< 目 次 >

I. はじめに.....	1
II. 実態調査の概要.....	2
1. 調査の目的.....	2
2. 調査対象及び調査方法.....	2
(1) 調査対象.....	2
(2) 調査方法.....	2
(3) 調査期間.....	2
(4) 回答状況.....	2
III. 実態調査結果の概要.....	3
1. 温室効果ガス排出量調査結果.....	3
2. 地球温暖化対策の取り組み状況.....	6
(1) 収集運搬業.....	6
(2) 中間処理業.....	7
(3) 最終処分業.....	8
(4) 業務部門.....	9
(5) その他.....	10
IV. 実態調査結果.....	11
1. 会員の回答状況.....	11
(1) 業種別の回答状況.....	11
(2) 許可別の回答状況.....	11
(3) 過去に温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となった会員の回答状況.....	11
(4) 会社設立時期、事業所数.....	12
(5) 経営基盤情報.....	14
(6) 企業規模等.....	15
(7) 中間処理業の概要.....	18
(8) 最終処分業の概要.....	21
(9) 収集運搬業の概要.....	24
2. 環境関連の認証取得状況.....	27
3. 地球温暖化対策市場メカニズムへの関心.....	28
4. 地球温暖化対策推進に関する支援制度の利用状況.....	29
(1) 利用した支援制度の種類.....	29
(2) 利用した支援制度の実施主体.....	29
(3) 利用した支援制度の概要.....	30
5. 地球温暖化対策の推進に関する意見・要望.....	31
6. 温室効果ガス排出抑制対策の実施状況.....	32

(1) 省エネルギー対策（省エネ行動の実践、省エネ機器の導入）	32
(2) 中間処理における対策の実施状況.....	41
(3) 最終処分における対策の実施状況.....	47
(4) 収集運搬における対策の実施状況.....	51
7. 温室効果ガス排出量算定に用いる活動量の状況	54
(1) 産業廃棄物関連施設におけるエネルギー（電気・ガス・燃料）使用量	54
(2) 温室効果ガスを発生する産業廃棄物の焼却量・熔融量	57
(3) 廃棄物発電・熱利用量.....	59
(4) 廃棄物由来エネルギー・製品製造量.....	59
(5) バイオガス発電・熱利用量.....	62
(6) 生分解性産業廃棄物の最終処分量.....	62
(7) 産業廃棄物収集運搬車両の燃料使用量.....	64
V. 温室効果ガス排出量算定結果	66
1. 実態調査結果に基づく温室効果ガス排出量	66
(1) 温室効果ガス排出量の算定対象.....	66
(2) 温室効果ガス排出量算定方法.....	66
(3) 温室効果ガス排出量算定結果.....	67
2. インベントリ等に基づく温室効果ガス排出量.....	76
(1) 温室効果ガス排出量算定の考え方.....	76
(2) 温室効果ガス排出量算定方法.....	76
(3) 温室効果ガス排出量算定結果.....	77
3. 温室効果ガス排出量の評価	82
(1) 収集運搬業.....	82
(2) 中間処理業.....	83
(3) 最終処分業.....	84
(4) 業務部門.....	85
(5) 全体の排出量.....	86
VI. 環境自主行動計画策定後の対策実施状況の変化.....	88
(1) 廃棄物発電・熱利用量の経年変化.....	88
(2) 廃棄物由来製品製造量の変化.....	89
(3) ディーゼルハイブリッド車の導入台数の変化.....	90
(4) バイオマス燃料使用量の変化.....	91
VII. まとめ及び今後の課題	92
1. 調査のまとめ.....	92
2. 今後の課題	98
VIII. 全国産業廃棄物連合会 低炭素社会実行計画（平成 29 年 3 月 14 日改訂）	